

麻生区区民会議 第13回環境・緑化部会 議事要旨

- 1 開催日時 平成24年2月20日(月)午後5時30分～午後7時30分
- 2 開催場所 麻生区役所4階第4会議室
- 3 出席者 [委員]
天野委員、大高委員、勝田委員、金光委員、東川委員、福田委員、山崎委員
[事務局]
安生企画課長、阿部企画課担当係長、飯島
- 4 傍聴者 0人
- 5 議事

(1) 第2回麻生区区民会議フォーラム報告内容について

【決定事項】

- ・配布資料は1枚に4画面分で両面印刷にする。文字が小さい箇所はフォントを大きくしたり太字にするなど見やすいようにする必要がある。

【環境・緑化部会の報告資料に対する主な意見】

(P15)

- ・最初に「第2期区民会議で取り組んだ生ごみリサイクルを発展継続した」ということを説明して欲しい。
- ・「環境負荷の低減」の意味が分かりにくい。→ 口頭で説明することにする。
- ・何を提言するかが漠然としていて説明しにくいと思う。
- ・生ごみリサイクルは個人でやっても広がらない。そこで区民会議としてやることに意義がある。
- ・他市ではごみ処理に問題が生じている。川崎市ではまだ処理できているが、何十年後かに問題になる前に早めに取り組むことが大事である。

(P16)

- ・生ごみアンケートの実施月を入れたい。
- ・(3)の「*他都市の取組状況調査」を削除し、(4)の下に生ごみ堆肥・肥料でつくった花、野菜の写真展も開催したことを入れる。
- ・アンケートの写真はスーパーで実施した写真に差し替える。また、写真展の状況を撮った写真を追加する。

(P17)

- ・ごみの減量になんらかの工夫をしている方が85%もいるのか。→ 水切りや余分なものを買わないとかも含まれる。実際に取り組んでいるのは23%である。
- ・「堆肥を使う人」は「堆肥を使いたい人」にする。

(P18)

- ・「提供者」は「乾燥生ごみ・堆肥提供者(区民)」の方が分かりやすい。
- ・「はぐるま工房」と「完熟堆肥へ加工」は1つにまとめた方がよい。
- ・「麻生区区民会議」の役割に【対象堆肥】や【回収方法】を入れてはどうか。
- ・生ごみ処理機の展示写真を追加する。
- ・天野委員が案を作成して再検討する。

(P 19)

- ・環境に関する活動に参加している、参加したい人が60%の根拠はなにか？→2008年度の市民アンケートの結果である。緑だけとは限らない。
- ・この結果は口頭説明と矢印の右側に注釈として入れる程度でよい。

(P 20)

- ・特に修正箇所はない。

(P 21)

- ・【まとめ】には里山ボランティアを続ける必要性を入れた方がよい。
- ・参加者は少なかったものの景観の整備に効果があったことを入れる。

(2) グリーンアップ・里山ボランティアについて

(3) 循環型のまち・生ごみリサイクルについて

- ・資料2、3はモデル事業についてまとめたものであり、報告書にはその他の取組も入れる。3月上旬頃に改めて案を提示するので、勉強会を開催して方向付けを検討する。
- ・資料2(5)の「限界がある」は「公募の方法や実施時期などの検討が必要」に修正する。

(4) 今後のスケジュールについて

- ・勉強会を3月16日(金)午後2時から区役所4階第4会議室で開催する。

(5) その他

- ・フォーラム報告資料の後に平成23年度市民アンケートでの区民会議に関する箇所を抜粋してお示した。区民会議の認知度は麻生区が最も高く、取り上げてほしい地域の課題でも上位の課題に取り組んでいる。
- ・天野委員から第1回区民会議フォーラムで事例紹介していただいた「すぎのこ保育園」の「堆肥化、調理方法改善取り組みによるごみ量変化」の調査報告があり、生ごみ減量が園全体のごみ量61%削減に繋がり、経済効果もあったことが説明された。